

# 第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

1-⑦

## 施策

地域社会全体で子どもを守り育てる

## 担当部局

保健福祉局，教育委員会

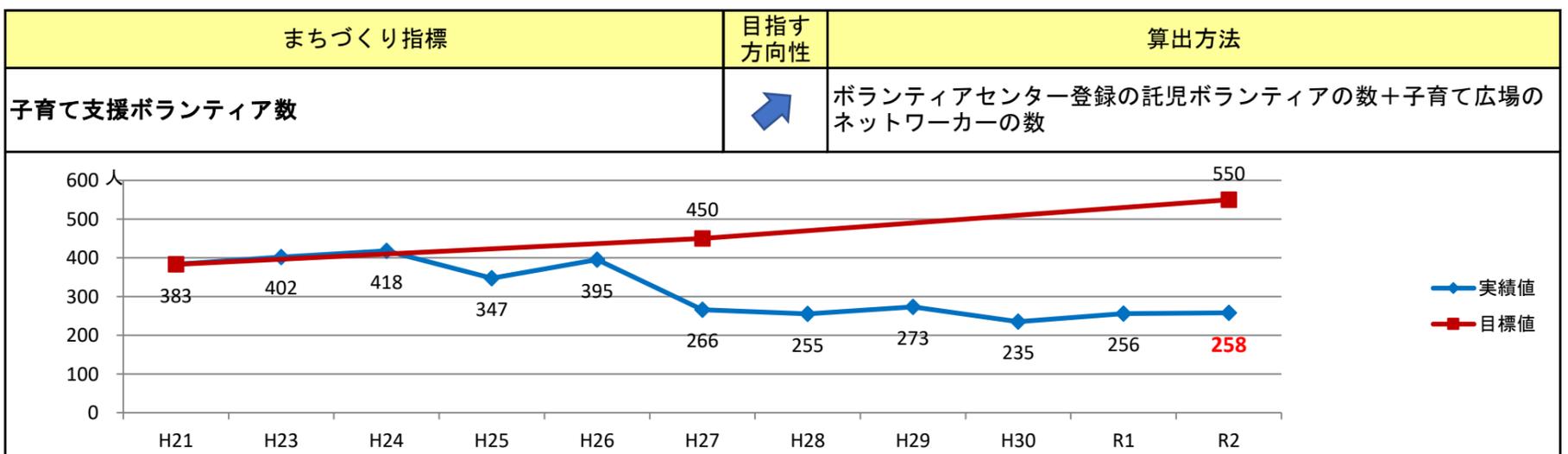
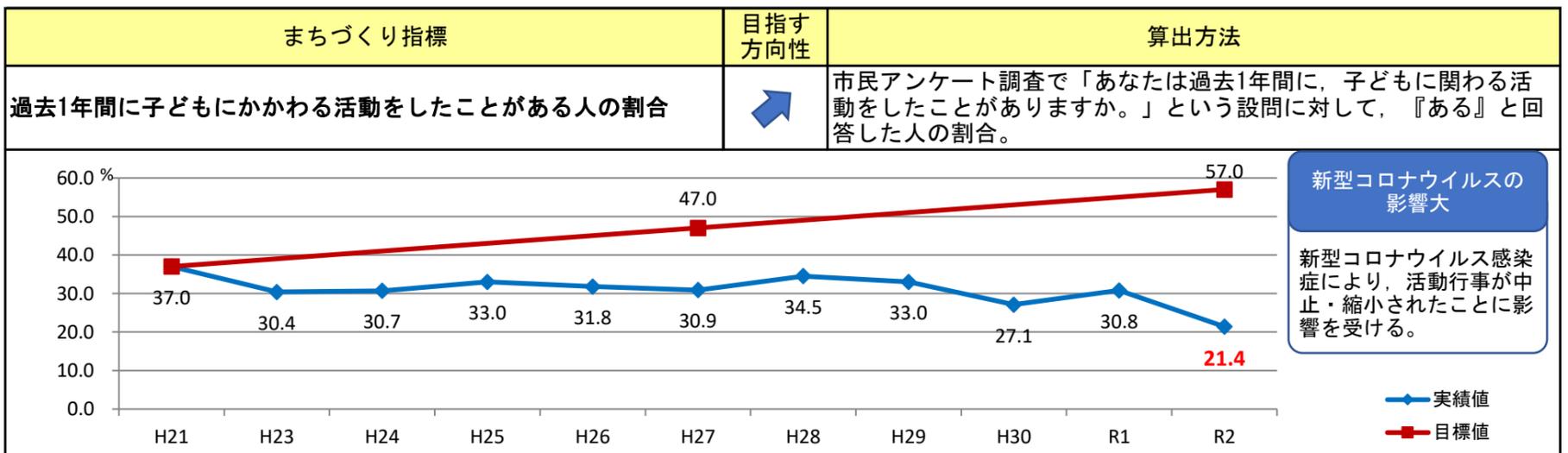
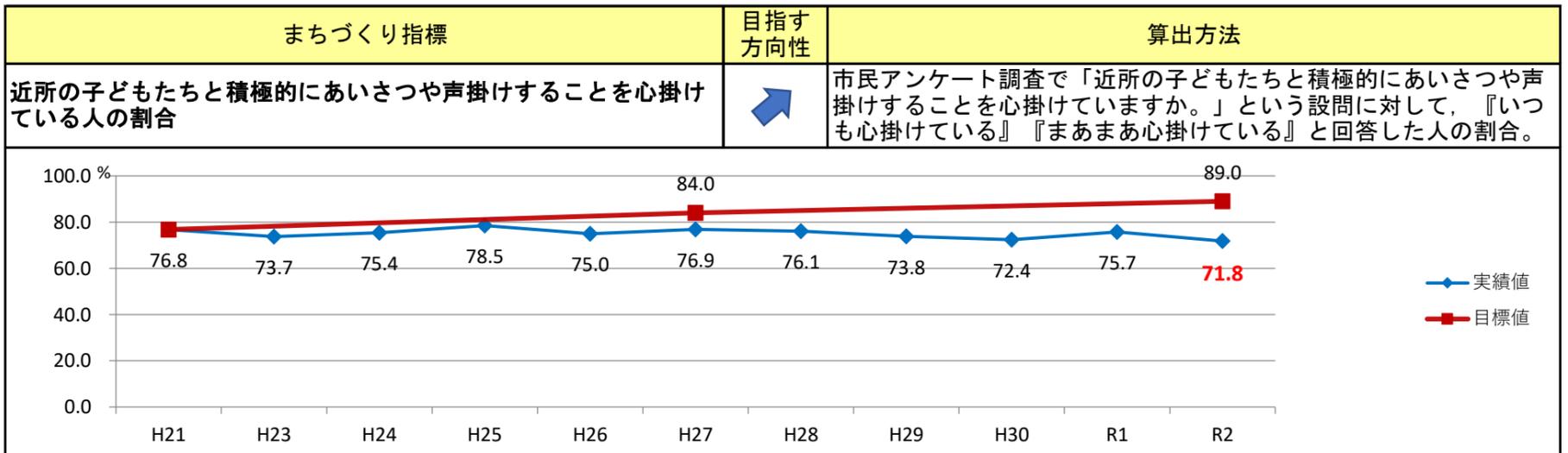


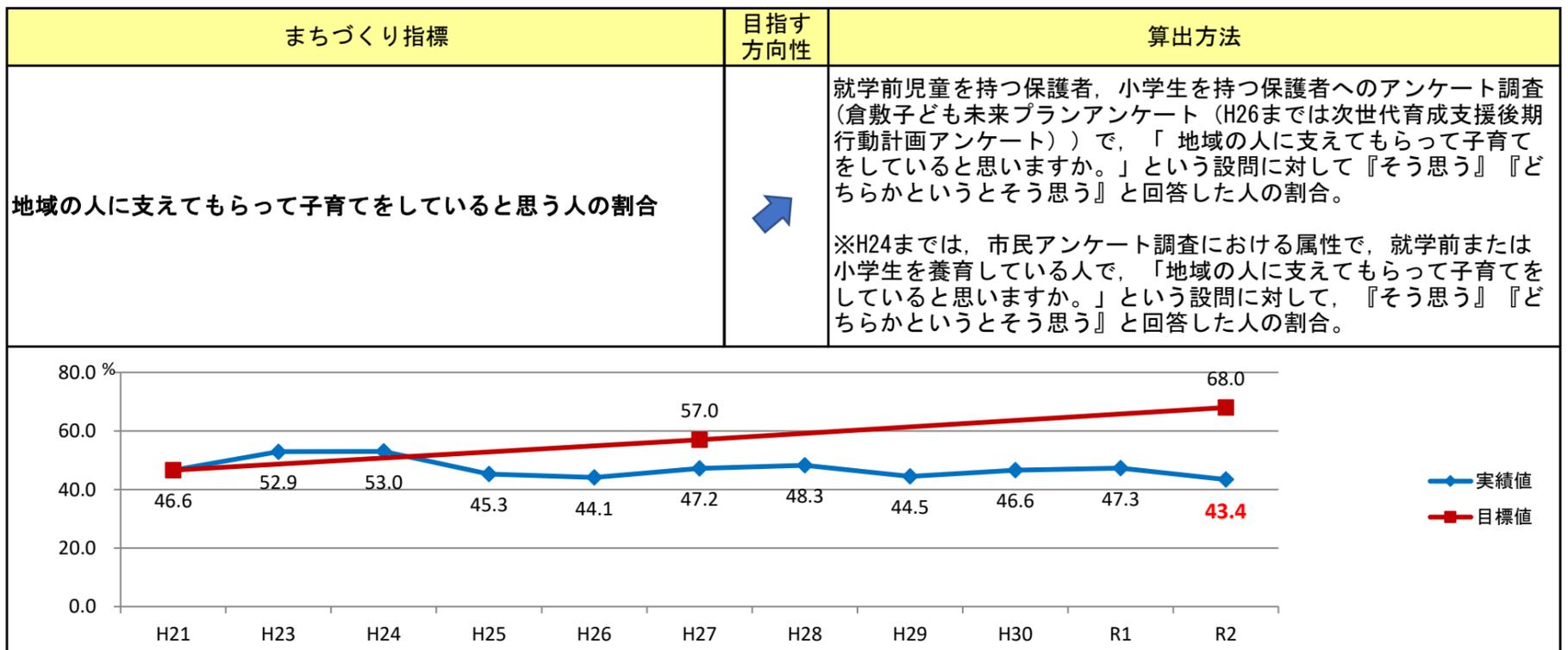
【はぐくみ】 めざすまちの姿 地域がつながり，助け合い，互いの信頼関係の中で，子どもたちを守っている

## 市の基本方針

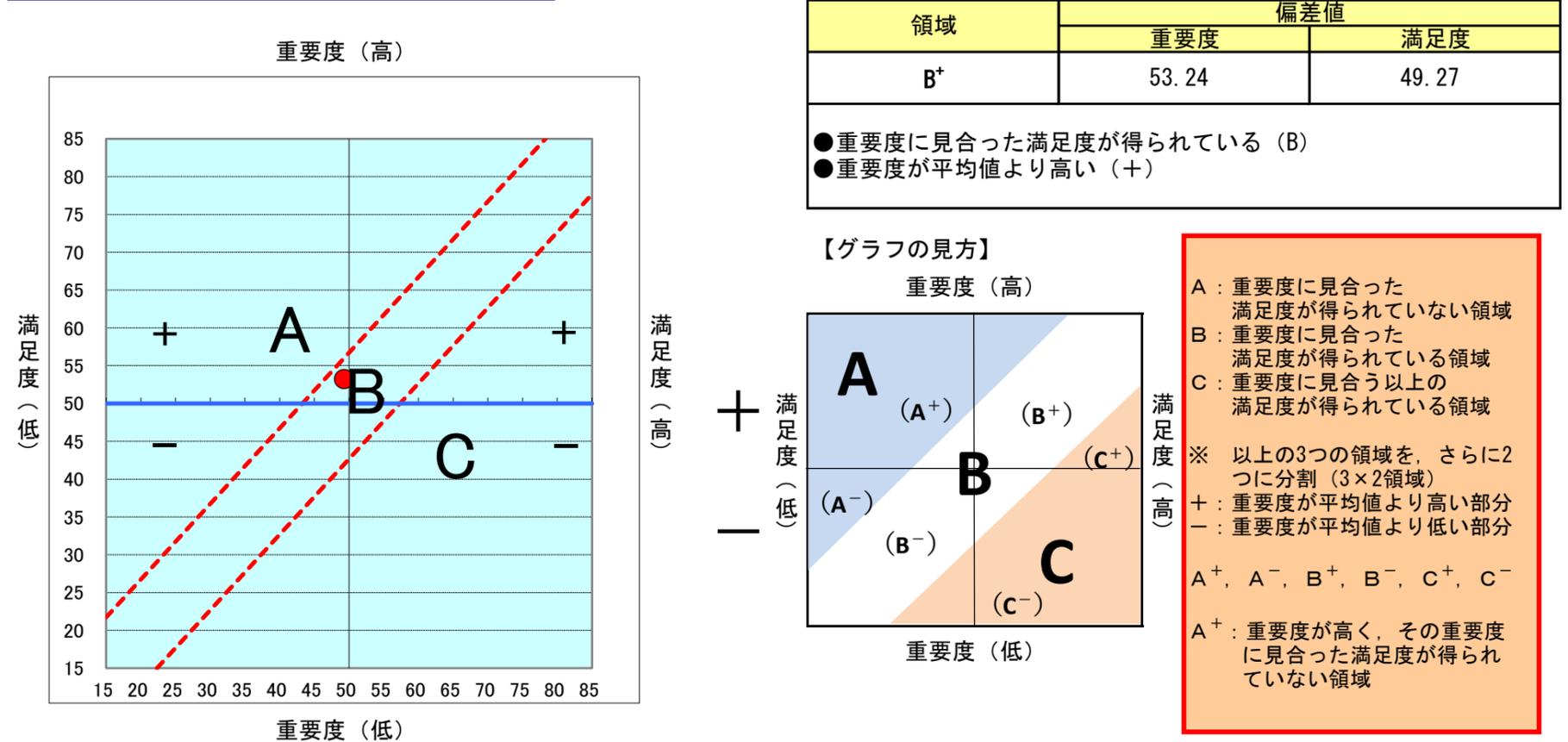
- 地域で子育てを支える担い手を育成するとともに，子育て支援活動を行っている団体を支援します。
- 子育て支援の拠点間のネットワーク化を進めるとともに，拠点を中心にして，各地域で活動している団体間のつながりの強化を図ります。
- 親としての役割を学び，責任感と自覚を高めるための「家庭教育のための学習」の機会を提供するとともに，社会教育関係団体の活性化を促進するなど，家庭や地域の教育力向上を図ります。

## 数値目標





市民の重要度・満足度（R3.5アンケート調査結果）



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)／令和2年度の主な実績(II)／今後の方向性(III)	R2年度決算額(千円)
	子育てサロン運営事業（再掲）	(I) 子育て親子が自由に集まり、交流や仲間づくりを行い、地域の触れ合いの中で子育てを楽しめるよう、各団体が月1回程度実施している。 (II) 補助金交付団体は13団体、延べ開催数64回、延べ利用者数1,044人であった。 (III) 継続して実施する。	311
創	地域子育て支援拠点事業 子育てカレッジ事業（再掲）	(I) 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。 (II) 地域の子育て親子が気軽に集い、交流できる場として、地域子育て支援拠点を市内20カ所に設置し、年間117,778人の利用があった。（玉島児童館3階のつどいの広場の利用者数は除く。）また、母親や乳幼児だけでなく、父親等が参加できるイベント等、それぞれの拠点事業実施者の特性を生かしたイベント、講座等を、各拠点において月に1回以上実施するなど、父親の育児参加や、地域で子育てを支援する機運の醸成に寄与した。さらに、13カ所の地域子育て支援拠点においては、地域の子育て支援団体とのつながりを生かした地域支援事業を実施し、地域の課題解決に継続的に取り組んだ。 (III) 継続して実施する。	255,042

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	子育て広場開設事業(再掲)	(Ⅰ) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (Ⅱ) 幼稚園等10カ所で開設。191回実施し、延べ3,561人の親子が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,982
	子育て力向上事業(再掲)	(Ⅰ) 子育てを支えている市民・団体間のつながりを強め、各地区の特性を踏まえた子育て支援風土を醸成すること及び各家庭の子育て力を向上することを目的に、子育てを支えている団体等が一堂に会し、情報交換、情報共有する「子育てcafe」を開催する。 (Ⅱ) 例年は地域子育て支援拠点事業を中心に「子育てcafe」でつながりができた団体同士が協働し、地域支援に取り組みむなどの成果が見られるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	4
	よい子いっぱい基金運営事業	(Ⅰ) 「よい子いっぱいのまち倉敷」の実現を目指して事業を実施する。 (Ⅱ) 市内中学校と支援学校で行われる立志式、「倉敷っ子なかよし作品展」、「よい子いっぱい芸術鑑賞」、中学生弁論大会へ助成し、優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する「よい子強い子表彰」では、56件を表彰した。 (Ⅲ) 新規助成事業を検討しながら、継続して実施する。	3,271
	成人式記念事業	(Ⅰ) 新成人の門出を祝福し、市民意識の高揚や社会人としての自覚を促す。 (Ⅱ) 新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たず中止し、代替策として、恩師からのビデオレター、成人式実行委員会からのメッセージ動画、「新成人の誓い」動画を市ホームページで公開した。 (Ⅲ) 令和4年度から民法改正による成年年齢引下げに伴い、名称は「二十歳(はたち)の集い」へ変更するが、事業は継続して実施する。	3,974
	こどもまつり実施事業	(Ⅰ) 子ども達の交流と少年団の活動の活性化を図る。 (Ⅱ) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 (Ⅲ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「新しい生活様式」を取り入れながら、継続して実施する。	-
創	地域連携による学校支援事業(再掲)	(Ⅰ) 地域住民による学校支援活動を推進し、地域の教育力の向上と活性化を図る。 (Ⅱ) 小学校区49カ所、中学校区20カ所、支援学校区1カ所、高等学校区1カ所で、事業を実施した。ボランティアとして6,042人の地域住民の方が、延べ201,854人学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 地域の教育力の向上と活性化を目指し、実施校区の拡充や学校支援体制の構築・維持を図る等、継続して実施する。	39,892
	青少年健全育成団体支援事業	(Ⅰ) 青少年健全育成関係団体を支援し活動の活性化を図る。 (Ⅱ) 市内26中学校区青少年を育てる会が実施する、青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対し、補助金を交付した。各中学校区で実施する家庭教育講演会には、4,067人が参加した。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動の振興のため、関係団体と連携を取りながら、継続して実施する。	9,069
	青少年健全育成推進大会実施事業	(Ⅰ) 広く市民に青少年健全育成への意欲関心を高める機会を提供する。 (Ⅱ) 第43回倉敷市青少年健全育成推進大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、講演会のみ少人数で行い、その様子をテレビ放映した。また、講演会等を収録したDVDを各中学校区青少年を育てる会及び関係者へ配布した。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動従事者や市民のニーズを取り入れながら、継続して実施する。	444
	家庭教育学級開設事業(再掲)	(Ⅰ) 家庭の教育力向上を目的に、保護者を対象に家庭教育学級を開設した。 (Ⅱ) 地域団体10団体と幼稚園3団体の合計13団体に家庭教育学級を開設した。子育てに関する講演会や、参加者同士が意見交換しながら家庭教育を学ぶ講座など、46講座を開講し、延べ2,007人が参加した。 (Ⅲ) 家庭教育に関心が薄い保護者の参加を増やすよう工夫しながら、継続して実施する。	1,075
	放課後子ども教室推進事業	(Ⅰ) 空き教室を活用し、地域住民の参画を得て、子どもに向けた様々な活動を行う。 (Ⅱ) 63小学校区で実施。実施日数は、合計2,219日、子ども延べ174,002人とボランティア延べ12,092人が参加した。 (Ⅲ) 必要に応じて活動内容を見直し、継続して実施する。	5,358
	子ども会支援事業	(Ⅰ) 子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している「倉敷市子ども会連合会」の支援を目的に実施した。 (Ⅱ) 健全な子どもの育成を目的とした子ども会運営のため、補助金を交付し活動を支援した。主な内容は、集団指導者養成講習会、球技大会、スポーツフェスティバル、子どもフェスティバルなどの活動を支援した。 (Ⅲ) 活動内容の見直しを行いながら、継続して実施する。	2,096